

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	スーパー特進L	国語	現代文	文系	必修	3

講座のねらい

一年次の授業で培われた現代文の読解力に磨きをかけ、さらなる応用力・表現力を身につけることを目標とします。教科書を中心に、評論・小説・随想など多くのジャンルの文章に接し、実践的な問題に取り組むことにより、高次の言語感覚と問題適応能力を養います。二年後のセンター試験及び国公立大学入試を意識した授業を展開していきます。

使用教材及び問題集

教科書：『高等学校 現代文B』（第一学習社）
 便覧：『新版二訂 カラー版新国語便覧』（第一学習社）

授業の内容と進め方

教科書を使用し詳しく学ぶ形式の授業はもちろん、読解力・文章表現力を身につけるためのプリント学習や模擬試験対策の過去問題演習を随所に織り交ぜた授業展開を図ります。文章のテーマやポイントを的確に押さえ、その中から得た知識や思考を、実際の模試や小論文などで生徒が実践的に使えるものとし、その単元内の語句の定着に加え、関連した問題演習なども積極的にを行います。

講座の到達目標

- 1 難解な文章を読解し、知識力を強化します。
- 2 課題テーマに対して、自らの意見を持ち、それを的確に表現する力を養います。
- 3 実践的な問題に接することで、入試を意識した学習スタイルを確立します。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査の結果を中心としながら、授業での発言・態度、小テストの結果、ノート・課題の提出状況などを加味し、総合的に評価します。小テストについては合格基準点を下回らないこと、ノート・課題の提出については期限を厳守することを求めます。

備考

当該学年において学習すべき基礎的学力の充実を図るとともに、大学入試をにらみ、平日の放課後に講習を実施します。長期休暇中にも講習があり、より高い目標の実現に向け、十分に学習量が確保されています。

授業の計画

1 学期	学習計画および学習内容
評論	「『美しい』を探す旅に出よう」
小説	「山月記」
評論	「歳時記について」
	「日本語史の『当たり前』」
2 学期	学習計画および学習内容
詩	「ちがう人間ですよ」
評論	「自己とは一つの物語である」
小説	「こころ」
評論	「反アート入門」
3 学期	学習計画および学習内容
評論	「動的平衡」
小説	「バグダッドの靴磨き」
評論	「連帯という言葉の意味」